



乾杯を
もっとおいしく。

埼玉県「彩の国さいたま魅力づくり推進協議会」へ寄付

「サッポロ生ビール黒ラベル 埼玉西武ライオンズ 70周年応援缶」
1本の売り上げにつき1円を彩の国さいたま魅力づくり推進協議会に寄付



右：埼玉県 県民生活部長 山野 均 様

左：サッポロビール 小野 文雄

サッポロビール（株）は、本年5月に埼玉県を中心に数量限定発売した「サッポロ生ビール黒ラベル 埼玉西武ライオンズ 70周年応援缶」の売り上げの一部を、9月17日に埼玉県「彩の国さいたま魅力づくり推進協議会」へ寄付しました。

本商品は、ファンの皆さまと地元埼玉県の球団「埼玉西武ライオンズ」を応援するとともに、埼玉県の魅力発信の一助となることを祈念して2018年から販売しており、寄付金額も本年度累計520,800円となりました。

当社は、これからも埼玉県の魅力発信の一助となる活動を通じて、埼玉県の発展に貢献していきます。

記

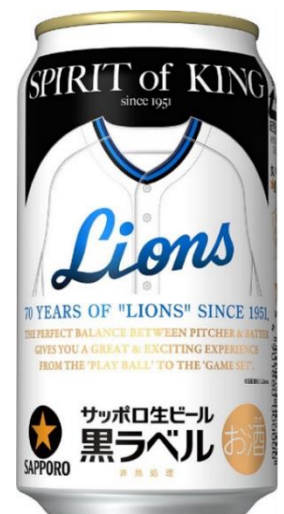
【贈呈式の概要】

1. 日程 2020年9月17日
2. 場所 埼玉県庁 県民生活部長室（埼玉県さいたま市浦和区高砂三丁目15番1号）
3. 贈呈先 彩の国さいたま魅力づくり推進協議会
4. 出席者 埼玉県 県民生活部長
山野 均 様
サッポロビール（株）首都圏流通本部流通営業統括部
統括部長 小野 文雄
サッポロビール（株）首都圏流通本部流通営業統括部
流通第5営業部長 山中 史朗
5. 寄付金 144,000円

【彩の国さいたま魅力づくり推進協議会】

県民の皆様が埼玉への愛着と誇りを高めることを目的に、埼玉県と市町村、各種団体や企業で構成する協議会です。彩の国埼玉の魅力を県内外に発信するために、様々な事業を展開しています。

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0301/s-miryoku/index.html>



<参考>当社と埼玉県のつながり

首都圏エリアへの商品供給を担う生産拠点として「サッポロビール川口工場」が1925年～2003年まで稼働していました。また、埼玉県産ビール大麦を協働契約栽培（注）しており、当社が育成した大麦品種の「彩の星」が県内で生産されています。さらに、本年2月には、長年の地域清掃活動や「サッポロ生ビール黒ラベル 埼玉県環境保全応援缶」の発売などが評価され「令和元年度 彩の国埼玉環境大賞」において優秀賞を受賞しました。https://www.sapporobeer.jp/news_release/0000011835/

（注）お客様に「おいしさ」と「安全・安心」を提供するために、ビールの主原料である麦芽とホップを栽培から加工プロセスまで、生産者とサプライヤーと共につくり上げるサッポロビール独自の原料調達システム。そのシステムは、以下の3つの柱から成り立っています。①大麦とホップの産地と生産者が明確であること②生産方法が明確であること③サッポロビールと生産者の交流がされていること。

以上